

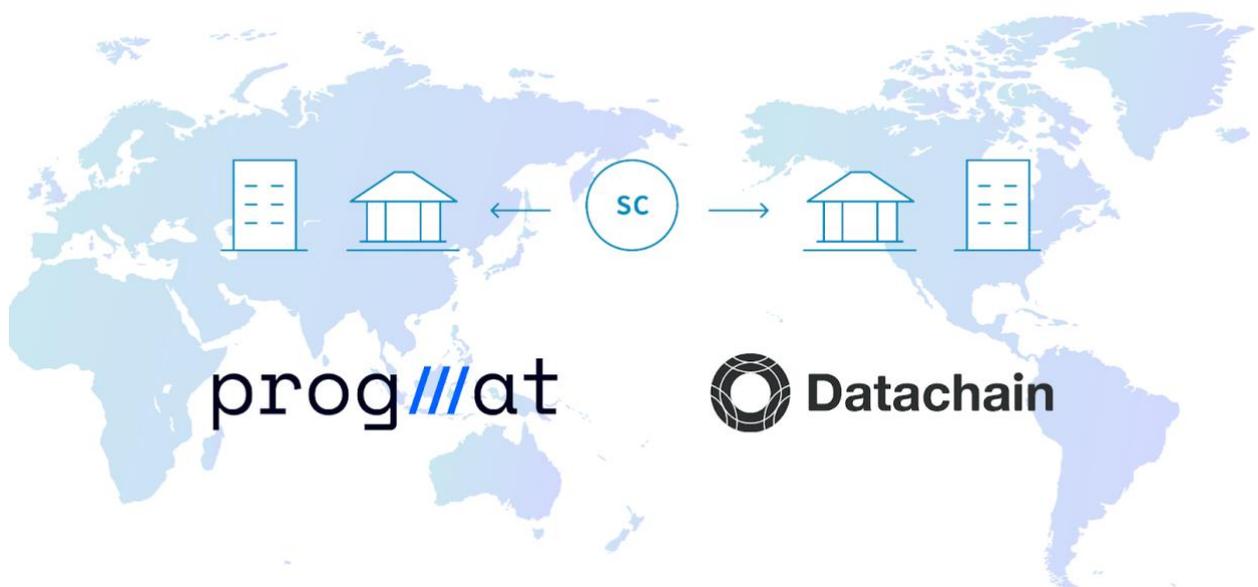
2024年10月22日

Progm at, Inc.
株式会社 Datachain

Swift と連携したステーブルコイン国際送金システムに関する特許出願について

Progm at, Inc.（代表取締役：齊藤達哉、以下「Progm at」）および株式会社 Datachain（代表取締役：久田哲史、以下「Datachain」）は、Swift システムと連携したステーブルコインによる国際送金システムに関する特許出願が完了したことをお知らせいたします。

両社は、2024年9月5日にクロスボーダーステーブルコイン送金基盤構築プロジェクト「Project Pax (*1)」を発表いたしました。今回の特許出願は、同プロジェクトで開発中のシステムに関するものです。今後、国際出願および主要国での特許出願も予定しており、これら一連の動きにより、両社は、ステーブルコイン国際送金システムのグローバル市場でのシェア拡大を目指してまいります。



1. ステーブルコイン国際送金システム特許出願について

現在、Progm at と Datachain は、クロスボーダー・ステーブルコイン送金基盤構築プロジェクト「Project Pax」を、2025年の商用化に向けて推進しています。

本プロジェクトは、2023年時点で190兆ドル（約28,500兆円）規模に達した巨大なクロスボーダー送金市場において、ステーブルコインを活用し、高速かつ低コストで24時間365日稼働可能なクロスボーダー送金を実現することを目指しています。

特徴としては、Progm at が提供する法規制に準拠したステーブルコインの利用に加え、AML/CFT

や規制対応、オペレーション構築、企業のウォレット利用におけるハードルを考慮し、Swift の既存 API フレームワークを活用して銀行経由によるステーブルコイン送金を実現する点が挙げられます。

今回の特許は、上述の「Project Pax」において開発を進めている、Swift システムと連携したステーブルコインによる国際送金システムに関するものです。

■特許概要

項目	詳細
特許名	ステーブルコインを用いた送金システム
特許出願日	2024 年 9 月 24 日
発明者	竹澤 友輔、齊藤 達哉、久田 哲史
特許出願人	Progmatt, Inc.、株式会社 Datachain

2. 特許出願の目的と今後について

今回の特許出願は、両社が開発を進める Swift システムと連携したステーブルコインを活用した国際送金システムにおいて、グローバル市場でのシェア拡大を目的としています。既述の通り、巨大なクロスボーダー送金市場において、各国でステーブルコイン関連の法整備が進む中、同様のスキームが登場することも予想されます。

これを受けて、今回の日本国内での出願に続き、今後は国際出願や主要国での特許出願も進めてまいります。

以 上

*1) 詳細はこちらをご覧ください: https://progmatt.co.jp/wp-content/uploads/2024/10/press240905_01.pdf

<別紙>

1. 「Project Pax」の由来/ビジョン

本プロジェクトは、現金融システムと対立する Web3 プロジェクトではありません。Web3・ブロックチェーン技術の良さを現在の経済システムと連続性を持つ形で実装することによって、両者を融合した持続可能な真のインパクト創出を目指すものです。

具体的には、誰もがより簡単かつ安全に、金融システムにアクセスすることのできる環境を構築し、新興国を含む世界の経済格差・経済課題を解消することで、より平和(=PEACE)な世界の実現を目指すものです。また、本取り組みは上記を実現するための基盤となる仕組みであり、欠かすことのできない1ピース(=PIECE)であると位置づけています。

「Pax」とは、ラテン語で平和、すなわち「PEACE」を意味する言葉です。これらの「平和」や「ピース」という語を基に、より世界中で広く利用される仕組みに育ってほしいという思いから、多くの言語の起源であるラテン語の「Pax」をプロジェクト名として採用しました。

2. 「Project Pax」関連組織

(1) 「Progmatic Coin 基盤」及び「クロスボーダー送金基盤」共同開発者

商号： Progmatic, Inc.

代表者： 代表取締役 Founder and CEO 齊藤 達哉さいとう たつや

URL： <https://progmatic.co.jp/>

(2) 「クロスボーダー送金基盤」開発者

商号： 株式会社 Datachain

代表者： 代表取締役 CEO 久田 哲史ひさた てつし

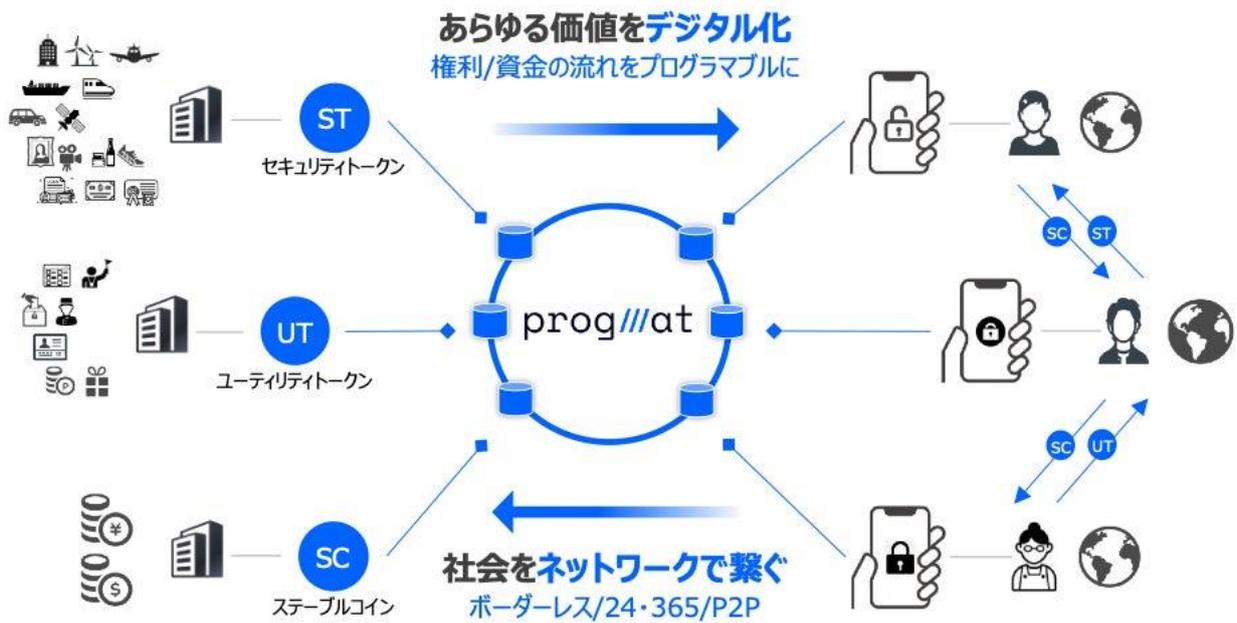
URL： <https://datachain.jp/>

◆ 「Progmatic (プログマ)」について

Webサイトおよび解説記事を公開しておりますので、以下 URL からご覧ください。

Webサイト：<<https://progmatic.co.jp/>>

解説記事：<https://note.com/tatsu_s123/n/n03a291fa52ab>



◆ 「Progmata Coin (プログラマコイン)」 基盤について

「Progmata Coin」 基盤は様々な SC を発行・管理するためのインフラです。資料を公開しておりますので、以下 URL からご覧ください。

資料 : <<https://speakerdeck.com/progmata/sc>>

解説記事 : <https://note.com/tatsu_s123/n/n406e5cfa9f1c>

